

2022年1月17日

2022年1月期 12月度 月次業績動向(2021年11月21日～2021年12月20日)

会社名 ピープル株式会社

上場取引所 東

コード番号 7865 (https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐淵真人

問い合わせ先: IR担当 飛田留美子

TEL:03-3862-2768

◆売上高 前年対比

(金額単位:千円)

12月度(単月)	前期:2021年1月期(注)	当期:2022年1月期	前年同月比
乳児・知育玩具カテゴリー	214,570	274,181	127.8%
女児玩具カテゴリー	73,641	84,820	115.2%
屋内遊具・乗り物カテゴリー	105,461	90,607	85.9%
育児・家具カテゴリー、その他	17,067	24,825	145.5%
海外販売	178,190	316,252	177.5%
合計	588,929	790,685	134.3%

2～12月度(累積)	前期:2021年1月期(注)	当期:2022年1月期	前年同期間比
乳児・知育玩具カテゴリー	1,323,875	1,544,045	116.6%
女児玩具カテゴリー	405,840	378,836	93.3%
屋内遊具・乗り物カテゴリー	833,578	684,987	82.2%
育児・家具カテゴリー、その他	135,472	176,310	130.1%
海外販売	1,579,358	2,359,718	149.4%
合計	4,278,123	5,143,896	120.2%

(注)2022年1月期第1四半期決算より連結から非連結へ移行しました。このため、前年同期間の数値につきましては個別(単体)業績をご参考値として記載しております。

◆12月度新発売およびリニューアル商品

当月は新商品およびリニューアル商品の発売はありません。

◆当月度概況

当12月度は、売上高7億91百万円、前年同月比34.3%増と、国内・海外ともに前年を超える好実績となりました。

米国では、Magna-Tilesシリーズの新商品が当たり、シリーズ全体の需要が高まっているものの、外航コンテナ確保が難しい状況は続いており、出荷できた分だけ売れていく状態ではありますが前年を大きく上回る売上となりました。また韓国向けに「やりたい放題ビッグ版」(韓国音声版)のまとまった出荷があったことも売上増につながりました。

国内につきましては、今年は12月に入っても市場全体として厳しい年末商戦となった様子です。そのような中で、当社商品は乳児・知育玩具カテゴリーを中心に順調に注文が入り、前年を上回る動きとなりました。

特に「ピタゴラスシリーズ」において、『知育いっぱいボールコースターDX』などの商品価格1万円を超える高額品がクリスマスギフトとして好調な売れ行きとなり、シリーズ全体を牽引しました。

一方、屋内遊具・乗り物カテゴリーは、コロナ特需のあった前年に比べて売れ行きは下回っているものの、コロナ前の例年に比べて良い売れ行きとなっています。

なお、現時点において当期売上高は創業来の高水準ではあるものの、海外販売(原価高)の急増による売上構成の変化は、事業収益構造にも影響していくものと認識しており、収益性の向上を大きな課題と捉え、今後施策を講じてまいります。

(ご参考)

通期業績予想(2021年12月2日公表)

2022年1月期(2021年2月度～2022年1月度)業績予想

(単位:百万円)

	2022年1月期通期業績予想(個別)
売上高	5,283
営業利益	426
経常利益	423
当期純利益	262